

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4570101800
法人名	有限会社 ひかり苑
事業所名	グループホームひかり苑木花
所在地	〒889-2151 宮崎市大字熊野字今江9898番地2 (電話) 0985-58-5298

評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	〒880-0023 宮崎市和川原1丁目101
訪問調査日	平成19年7月24日

## 【情報提供票より】(19年 7月19日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 11 月 27 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8 人, 非常勤	人, 常勤換算 6.0 人

## (2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	1 階 ~	階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	光熱水日9,000 円	
敷金	有( ) 円	<input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

## (4) 利用者の概要(7月 9日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 81.88 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人善人会 市民の森病院 こざわ内科
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅地にあり、建物の周囲は日本庭園が施されており、木立は居室からもリビングからも眺めることができ利用者はやすらぎの環境でおだやかに過ごされている。ホームの理念に掲げてある「個人の尊厳と安全」を目標に置き、ペット(愛犬)と同居や趣味の野菜作り等と利用者一人ひとりにより添った支援がなされている。更に木花駅舎の清掃活動やホームのすぐ近くの公道グリーンベルトに花を植えるなど地域との交流も積極的に行われている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営理念は玄関入り口の目に付きやすい場所に置かれている。ホームの看板は道路に面した門柱の壁に目に付きやすい場所に出されている。日々の申し送りは口頭でしていたものを申し送りノートに記録され確認者のサイン・捺印があり改善されている。成年後見制度等について資料を提示し要望があれば司法書士・社会福祉協議会等に相談できる体制を整えている。介護計画について3か月毎の見直しが行われている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・職員は自己評価及び外部評価の意義や目的について十分周知している。管理者と職員は日々のミーティングや毎月の会議のなかで改善課題について話し合い一緒に取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回、地区の自治会長・民生委員・家族・管理者・職員で実施されている。担当の市町村職員・包括支援センターに出席依頼をしているが、まだ実現していない。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月の請求書と一緒にホームでの生活の様子を手紙で知らせたり、面会時に伝えるようにしている。家族からの不満や苦情はできるだけ受け入れ改善につなげようとする姿勢がある。今後は、家族の率直な意見や苦情の言える場の提供をされ、出された意見、苦情を運営に反映していく取り組みをすすめてほしい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地区活動として木花駅舎の清掃や近くの公道のグリーンベルトの花植えなどに利用者と職員が一緒に参加し地域との交流が図られている。7月の夏祭りでホームの敷地内にお神輿が来て利用者には大変喜ばれている。更なる地域との交流に取り組み地域に根ざしたホームとなることを期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は事業所独自のものを作りあげており、玄関の目付きやすい場所に提示されている。	○	地域の中でその人らしく生活することを支えるケアについて具体的な分かりやすいやさしい言葉に表現してはどうだろうか。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は日々のミーティングの中で、また毎月1回行っている会議の中で理念について話をしている。職員は理念に添ったケアを実践していけるように常に努力する姿勢が見られる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は地区の呼びかけで木花駅舎の清掃や、公道のグリーンベルトの花植えに利用者と職員が参加している。夏祭りのお神輿がホームに来て利用者を楽しませてくれたり地区の消防団の夜警見回りにも来てくれる等地域との交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価の結果について、全職員に伝え改善に向けて取り組んでいる。職員も自己評価外部評価についての意義を理解している。	○	改善に向けた取り組みについて、改善計画シートを作成し、計画性を持って進め、記録に残すような工夫をしてほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議を地区の自治会長・民生委員・利用者家族・管理者、職員で開催している。出された意見については前向きに対応しサービスの向上に繋げている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者、地域包括支援センターなどに呼びかけを行っているが、参加についてはまだ実現していない。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書と一緒に個々の暮らしぶりについての報告をしている。家族の面会の時にも職員が声をかけ報告をするようにしている。健康状態に問題があるときは電話で連絡するようにしている。金銭について自己管理できる方もおられ、自己管理できない方についてはホームが立替方式としている。	○	家族が知りたい点を考慮しながらホームの生活の様子や行事の案内等また家族に協力を依頼したい事柄などホーム便りの作成を検討してほしい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に意見、不満、苦情をできるだけ話して貰えるように声かけしている。出された意見や苦情については速やかに対応するようにしているが、不満、苦情は寄せられない。運営推進会議メンバーの自治会長、民生委員に第3者相談窓口になってもらっている。	○	家族は意見や不満、苦情を出しやすくするような工夫を検討してほしい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事業所としては職員の移動は行っていない。退職の場合は利用者にダメージを与えないように残りの職員が配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は研修の機会が多く研修復命書で報告しミーティングや会議の中で職員に伝達している。職員は外部研修を受講したい意欲を持っている。	○	管理者はなるべく多くの職員が研修を受けられるような体制づくりをしてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ブロック研修に積極的に参加して交流が図られている。職員も参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、家族に見学に来て戴き、次に事業所を体験していただき職員とも顔なじみになってから入居して頂くようにしている。病院からの場合は面会や面接をして顔なじみの関係を作ってから入居になるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の話しかけに傾聴し笑顔で相槌をうち一緒に楽しんで過ごしている。利用者の人間性を尊重した態度で接しており家庭の雰囲気をもっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の愛犬と過ごしたい意向を受け入れたり、家族が「お父さんが好きだから」といって持って来られたしいたけの原木を本人の管理として見守り、収穫できたらホームのみんなで楽しく食するなど利用者や家族の意向を大切にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の意向を伺いサービス担当者会議を開催してそれぞれの意見を反映した介護計画がたてられている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月毎の見直しがされている。見直し以前に状態に変化が生じた場合はその都度家族、職員で話し合いプランの変更を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人家族の状況に応じ通院の送迎など、必要に応じて柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームのかかりつけ医の往診が1回/2週間行われている。健康状態の悪いときは家族に連絡を取り受診できるように支援している。本人家族の希望があれば利用者のかかりつけ医の受診や、歯科もホームの近隣にあり希望があれば受診を支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期や重度化した場合は家族の意向を十分に聞きかかりつけ医と相談する方針をとっている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	言葉かけや対応の仕方は丁寧でプライバシーについては十分配慮されている。記録物等の個人情報に関しては守秘義務が守られている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調によって午前中に起きられない利用者に対して職員側のスケジュールを押し付けず遅食をするなど本人のペースに合わせた対応がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けについてはできる方がいないためにお絞りを作ってもらっている。利用者の趣味で育てたいたけや、ミニ菜園の野菜が食卓に出ることもある。職員は利用者と同じテーブルで食事しているが手持ちの弁当を食べている。	○	利用者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを楽しく食べることができるような取り組みを工夫してほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は3～4日/週午後としているが希望があればいつでも入浴は可能である。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	プランターに色とりどりの花やナス・青菜が植えられている。庭に梅の木もあり花を楽しんだ後は実も収穫して楽しみごとのひとつとしている。愛犬と同居も受け入れて世話は飼い主の利用者の役割としている。できていないときに職員が手伝うようにするなどさりげない支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	趣味の詩吟教室や近隣の衣料品店・スーパーや公園までのミニドライブ等その日の希望に沿って外出支援がされている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外門扉や玄関の鍵はかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルを作成し2～3回/年の火災訓練を実施している。リビングに火災報知器・消火器等も設置している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた献立表に添った食事が提供されている。個人票に食事量の記入がされている。水分は夜間も飲めるように手元に楽のみ等を置き支援している。	○	栄養士の専門的アドバイスが定期的に受ける機会を検討してほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りのベランダには色とりどりの季節の花がプランターに植えられている。リビングから庭の木立が眺められゆったりと居心地の良い空間となっている。また、キッチンから煮炊きの匂いがして家庭の雰囲気そのものである。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使っていた鏡台やテーブルなどのなじみの家具が置かれ居心地良く過ごせるように配慮されている。		